

原子力災害時の家族避難計画（UPZの例）

【例① 平日日中 自宅UPZ・4人家族 基本的な避難行動】

【ポイント】
UPZは指示があるまで屋内退避を行います。なお、放射性物質が放出されたとしても、UPZ全ての地区に避難指示が出るわけではありません。

自宅：UPZ（西山地区） 地区の避難先：村上市		発電所の状況	警戒事態（AL）	施設敷地緊急事態（SE）	全面緊急事態（GE）	放射性物質放出後	
家族	現在地	基本の避難行動	速やかに帰宅・家族の迎え	屋内退避の準備	屋内退避	屋内退避継続または指示が出された場合は避難（一時移転）開始	家族との合流
父	職場：UPZ（避難先 上越市）	自家用車あり	帰宅	屋内退避の準備 ・窓を閉める ・換気扇を止める ・ペットを屋内に入れる ・非常時の備えの確認	屋内退避	屋内退避継続	避難指示が出されるまでに自宅で合流できなかったときは、避難先の村上市で合流する
母	職場：UPZ（避難先 上越市）	自家用車あり	帰宅				
長女	職場：UPZ（避難先 糸魚川市）	自家用車あり	帰宅				
次女	職場：市外（UPZ外）	自家用車あり	帰宅中	帰宅			

【ポイント】
自家用車やバスでの避難が困難な場合（避難に車いすやストレッチャーが必要など）は、市が自宅に福祉車両を手配します

【例② 平日日中 自宅UPZ・7人家族 自宅に避難指示があるケース】

自宅：UPZ（田尻地区） 地区の避難先：南魚沼市		発電所の状況	警戒事態（AL）	施設敷地緊急事態（SE）	全面緊急事態（GE）	放射性物質放出後	
家族	現在地	基本の避難行動	速やかに帰宅・家族の迎え	屋内退避の準備	屋内退避	屋内退避継続または指示が出された場合は避難（一時移転）開始	家族との合流
父	職場：市外UPZ（避難先 関川村）	自家用車あり	職場（市外UPZ）からの帰宅困難	職場（市外UPZ）からの帰宅困難	職場（市外UPZ）で屋内退避	屋内退避継続、または職場のある地区に避難指示が出た場合は、関川村に自家用車で避難	父が長女を迎えに行き、南魚沼市の避難所で合流する。
母	職場：PAZ（避難先 村上市）	自家用車あり	長男を迎え後、帰宅	屋内退避の準備 ・窓を閉める ・換気扇を止める ・ペットを屋内に入れる ・非常時の備えの確認	屋内退避	自宅のある地区に避難指示、南魚沼市に自家用車で避難開始	
長女（高校生）	学校：市外UPZ（避難先 新潟市）	電車通学	公共交通が不通のため、学校で待機	学校で待機	学校で屋内退避	屋内退避継続 または学校のある地区に避難指示が出た場合は、教職員の引率により新潟市にバス避難	
次女（高校生）	学校：UPZ（避難先 上越市）	自転車通学	学校指示により、帰宅（自転車）	屋内退避の準備 ・窓を閉める ・換気扇を止める ・ペットを屋内に入れる ・非常時の備えの確認	屋内退避	自宅のある地区に避難指示、南魚沼市に母の自家用車で避難開始 ※曾祖母の避難に福祉車両が必要な場合は、市に福祉車両の手配を依頼し、祖父が付き添い、福祉車両で避難する。	
長男（中学生）	学校：UPZ（避難先 南魚沼市）	自転車通学	母と一緒に帰宅				
祖父		無職・基礎疾患あり・自家用車あり	情報収集				
祖母	自宅：UPZ（避難先 南魚沼市）	無職・運転不可					
曾祖母		持病あり・歩行困難・運転不可					

【ポイント】
屋外で災害対応に従事する民間事業者は、全面緊急事態となった時点で対応を中断し、屋内退避（PAZ内の場合は避難を開始）します。

【例③ 休日 自宅UPZ 3人家族 災害対応に従事している場合】

自宅：UPZ（北鱒石地区） 地区の避難先：南魚沼市		発電所の状況	警戒事態（AL）	施設敷地緊急事態（SE）	全面緊急事態（GE）	放射性物質放出後	
家族	現在地	基本の避難行動	速やかに帰宅・家族の迎え	屋内退避の準備	屋内退避	屋内退避継続または指示が出された場合は避難（一時移転）開始	家族との合流
父	自宅：UPZ（避難先 南魚沼市）	自家用車あり 建設会社勤務	市からの要請により、災害対応（道路復旧）に従事	災害対応（道路復旧）に従事	災害対応中止 帰宅し、屋内退避	屋内退避継続	
母	市内で外出中	自家用車あり	帰宅	屋内退避の準備 ・窓を閉める ・換気扇を止める ・ペットを屋内に入れる ・非常時の備えの確認	屋内退避		
長男（小学生）							